

令和6年度 学校自己評価（2学期集計結果）

達成状況評価→ A：よくできた B：できた C：あまりできなかった D：できなかった

※A(4pt),B(3pt),C(2pt),D(1pt)として集計、平均を算出。3.0以上を成果、2.5以下を課題（太字斜体二重下線）、その間を改善の余地あり（斜体下線）と捉える。

領域	観点	項目	評価①	評価②	評価③	今後に向けた取組（重点事項）
学校運営	学校経営方針	1 学校教育目標に向けて具体的に実践した。	3.1	3.3		
		2 「元気なあいさつをかわす子」が育っている。	<u>2.9</u>	<u>2.9</u>		・「あいさつ運動」等、今後も進んであいさつができる児童を表彰するような取組を検討する。 例：掃除や読書OR児童作戦募集【継続：生指・児童会】
		3 「やる気をもって学ぶ子」が育っている。	3.1	3.1		
		4 「思いやりの心を持つ子」が育っている。	3.3	3.4		
	組織運営	5 勤務時間の適正化が図られている。（定時退勤日の取組、勤務の割り振り等）	<u>2.9</u>	3.0		・学級経営業務、授業準備（教材研究等）、学級事務（添削等）、分掌事務等、業務内容を精選、 順位付けを意識 する。 【継続：担任・担当】 ・SSSの業務内容を整理する。【継続：労働安全衛生委員会】 ・計画的年休 10日取得 を目標とする。【継続：全員】 ・各教室での業務は原則として 19時30分まで とする。【継続：全員】 ・2学期から運用している オンライン連絡 について、 高学年は継続実施 、他学年についても 試験運用を検討、毎日の持ち帰り を検討する。【継続：情報担当】 ・保護者への配付文書を PDF配付（マチコミ） を試験運用する。3学期のPTA本部関係で 試験運用を実施 する。【教頭】 ・GPH100+から取り入れられそうな取組を検討する。【継続：全員】 ・勤務時間の タイムマネジメント を各自が意識する。【全員】 ・「発達支持的生徒指導」「課題未然防止教育」を充実させる。【全員】 ・突発的な事案を除いては、 ノー会議デー、定時退勤日 を遂行できるよう、計画的に業務を行う。【担当・担任】 ・今年度の状況を振り返り、次年度へ向けて、 ノー会議デー、定時退勤日 等の曜日見直しを検討する。【学校教育改革・労働安全衛生委員会】 ・通知表の所見については町様式のため単独の動きが難しいのが現状である、今後の検討課題である。【管理職】
		6 職員会議では共通理解が図られ、効率的に行われている。（業務・会議の効率化等）	<u>2.5</u>	<u>2.9</u>		・提案文書を早めに作成し、事前に目を通しておくようにする。水曜日の提案であれば、 月曜日には掲示 しておき、 火曜日から会議が始まるまでに全員が閲覧 しておく（ 前週には起案 ）。個別の相談、調整が必要な案件は 事前（関係職員とのコミュニケーション） に済ませておく。【継続：担当・全員】 ・会議の タイムマネジメント を徹底する。【継続：司会者・提案者】 ・掲示板・ローカルメールを活用し、 事前処理できる案件は職員会議には上程しない ようにする。【継続：全員】 ・共通理解事項、メ切等を遵守する。場合によりマインド通知等を活用して確認する。【全員】 ・変更、修正箇所を赤文字、重要箇所を黄蛍光ペンで目立たせる等、工夫する。【全員】
		7 校務分掌は適切に機能している。	<u>2.9</u>	<u>2.9</u>		・担当内での 事前調整 を徹底する。【継続：全員】 ・担当で相談→職員作業が必要→周知する。（職員会議連絡、職員室黒板「作業」掲示等）【全員】
		8 教職員相互の協力・協働・相談等に努めている。	3.1	<u>2.9</u>		・原則として当日の時間割（＝教育課程）変更は行わない。変更する場合は、 必ず前日までに関係者（教科担当、教育活動支援員、補助員等）と調整 する。【継続：担任】 ・報告、連絡、相談の徹底。【継続：全員】 ・職員室での業務（作業）を心掛け、さまざまな 情報交換 をおこなう。【継続：全員】

	研修	9	公務員としての自覚を持ち、服務規律の順守、資質向上等を図っている。	3.4	3.3		
		10	P T A（学年行事含む）は、適切に機能し、運営されている。	3.4	3.2		
		11	校内研修は適切に推進している。	3.3	3.2		
		12	研修テーマを意識し、主体的に研修に努めている。	3.1	3.2		・研究授業だけではなく <u>お互いの授業を参観したり、自分の授業を録画して検証</u> したりするなど授業について気軽に議論していける取組（ <u>公開授業週間</u> ）を継続する。【 <u>継続：研修部</u> 】 ・ <u>公開授業週間の取組を充実させる。</u> 【 <u>研修部</u> 】
		13	研修の場と時間は、確保されている。	3.2	3.3		・職員室黒板でオンライン研修の掲示を行う。【 <u>教頭</u> 】
		14	学級経営目標に向けて、具体的に実践している。	3.3	3.2		
		15	児童理解をもとに、共通理解を図りながら適切な指導をしている。	3.2	3.1		・児童理解の会、生活指導の会の <u>効率的な在り方と効果的な指導体制</u> づくりを検討する。【 <u>特支コード・生指・教育支援委員会</u> 】 ・ <u>隣接学年の指導も意識し、学習の成果物や発表等の交流も実施する。</u> 【 <u>担任団</u> 】
		16	基本的生活習慣が身についている。	<u>2.8</u>	3.0		・学期に1回、 <u>基本的生活習慣に関する取組を月目標に反映させる。</u> 【 <u>継続：生指・児童会</u> 】
		17	いじめ、不登校等、家庭・地域と連携を密にして組織的に未然防止、早期発見、早期対応に努めている。	3.4	3.4		・「発達支持的生徒指導」「課題未然防止教育」を充実させるとともに、「 <u>課題早期発見対応</u> 」を心掛ける。（生徒指導提要より）【 <u>継続：全員</u> 】 ・ <u>3学期「心の健康観察」導入を推進する。</u> 【 <u>教頭・担当</u> 】
		18	安全点検は、確実に行われている。	3.5	3.3		
	施設・設備の管理	19	教材・教具は整備され、活用されている。	<u>2.5</u>	3.0		・職員室、教室等の整理整頓、 <u>使いやすく、過ごしやすい居場所</u> づくりを心掛ける。【 <u>継続：全員</u> 】 ・担任や担当が変わっても <u>使いやすくなるような環境を整える。</u> （教具室・倉庫・図書室の整理）【 <u>全員</u> 】 ・職員室、印刷室、教具室等、 <u>収納場所を明記されている場所へ確実に戻す。</u> 【 <u>全員</u> 】
		20	学級園は整備され、活用されている。	<u>2.8</u>	3.0		・ <u>植える時期の見直し</u> か学級園の規模の縮小を検討する。（次年度に向けて <u>今年度中に協議・決定する</u> ）【 <u>継続：勤労生産担当</u> 】
		21	施設・設備は美化が図られ、適切に管理されている。	3.2	3.2		・安全点検と連動し <u>随時教育委員会</u> に報告する。【 <u>継続：教頭・事務</u> 】
		22	適正な予算（学校、学級）運営がなされている。	3.1	3.0		・経費節減のための <u>ルールを周知徹底</u> する。【 <u>継続：全員</u> 】 ・各担当による <u>予算執行を計画的に進める。</u> 特に全体に関わる予算については <u>適当な時期に執行</u> する。【 <u>継続：各担当</u> 】 ・配当された予算、執行された予算は適正に処理するとともに次年度に向けて必須な消耗品については必ず計上しておく。【 <u>担任・担当</u> 】
		23	公文書は適正に管理されている。	3.4	3.3		・ <u>ローカルメール</u> の日常的な確認の習慣【 <u>継続：全員</u> 】 ・重複をしているデータを削除、最終データのみをフォルダに残す。【 <u>全員</u> 】
		24	教育課程は確実に履修されている。（授業時数、授業時間の確保を含む）	3.2	3.4		・授業の開始・終了時刻の厳守を徹底するとともに、授業に対する <u>タイムマネジメント</u> を意識する。【 <u>授業者</u> 】
教育課程	学習指導	25	「新温泉授業スタンダード5」を意識した授業改善に努めている。	3.0	3.2		・校内研修のための授業づくりではなく、日々の授業実践に研修テーマの視点を取り入れた <u>授業改善</u> を図っていく。（12と同じ）【 <u>継続：授業者・研修部</u> 】
		26	指導と評価の一体化により、児童のつまずきの解消を図っている。	3.1	3.0		・ <u>デジタルドリルの活用を推進</u> するとともに、来年度に向けてより効果的なデジタル教材の検討する。【 <u>情報</u> 】

	27	家庭と連携し基礎・基本の確実な定着を図っている。（家庭学習の取組等）	3.2	3.0		・宿題の在り方、出し方について、抜本的に検討する。【研修部】
様々な教育活動	28	道徳教育では、「道徳の時間」を要として、創意工夫した指導計画を作成し、児童、家庭、地域の実態を考慮した指導の充実を図っている。	3.2	3.0		・道徳の研修会等に参加した後、報告交流会を実施する。【継続：道徳担当・研修部】
	29	外国語・外国語活動により、外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を育成している。	3.4	3.4		
	30	人権教育では、自他に対する肯定的な態度と共生社会の実現に主体的に取り組む実践力を育成するよう努めている。	3.1	3.2		
	31	特別活動では、よりよい学校生活づくりに参画する気持ち、自主的・実践的な態度を育成している。（学活、委員会、クラブ、代表委員会、集会活動等）	3.2	3.0		・委員会の活動内容の整理、精選を検討する。【各担当・児童会】
	32	特別支援教育～一人一人の教育的ニーズを把握し、きめ細かく適切な支援を行っている。（担任、養教、専科、S A、補助員の連携等を含む）	3.1	3.0		・週案を必ず関係する職員に配付する。【継続：担任】 ・教育活動支援員、補助員の記録に目を通す等、授業者と支援者の意思疎通を確実に行う。【継続：担任・担当】 ・相談機関の助言等も受け、年度内に指導するべきこと、次年度継続した方がよいことを整理しておく。【担当・担任】
	33	特別支援教育～コーディネーターを中心として、校内及び関係機関や保護者等との連絡調整を図っている。	3.3	3.2		
	34	特別支援教育～通級による指導を中心として、支援を要する児童が安定した学校生活を行えるよう実践している。	3.3	3.3		
	35	保健指導・健康教育は、適切に行われている。（性教育、心のケア、アレルギー対応等を含む）	3.4	3.3		
	36	安全教育は、職員が危機意識を持ち、児童が自らの命を守るために主体的に行動する態度を育成している。	3.3	3.3		
	37	情報教育では、ICTを効果的に活用し、情報活用能力及び情報モラルの育成を図っている。（タブレット活用、プログラミング教育を含む）	2.8	3.0		・一日一回は必ずタブレットを活用する。【継続：授業者】 ・教育D X等の情報を共有、授業実践に向けた研修を実施する。【継続：情報担当・担任】 ・ひょうごGIGAワークブックを活用した実践を共有する等、具体的な活用を推進する。【情報・担任】
	38	国際理解教育を通して、コミュニケーション能力、主体性や創造性、チャレンジ精神、国際的な共生の心の育成図っている。	3.3	3.1		
	39	福祉教育を通して、思いやりや共助の心、ボランティア精神等の育成を図っている。	3.3	3.4		
	40	防災教育では、副読本を活用したり各種訓練を実施したりし、様々な災害から自他の命を守る能力を高めている。	3.5	3.4		
	41	体験活動を通して、自己認識や自尊感情を高め、人間としての在り方や生き方を考えさせている。	3.4	3.1		
	42	環境教育では、地域教材や外部講師等を活用し、環境問題や環境保全等に対する理解の促進を図っている。	3.8	3.1		
	43	読書指導により、豊かな人間形成や情操を育んでいる。	3.4	3.1		

		44 学校給食を「生きた教材」として活用した給食指導を行い、組織的・計画的・継続的に食育を推進している。	3.1	<u>2.9</u>		・給食指導について再度共通理解（手順、約束事等）を図り、具体的な事例を交流しながら指導方針を整理する。その方針に基づき、指導を徹底していく。（指導の責任者は担任）【継続：担任・給食担当】
		45 清掃指導では、環境衛生への意識を高め、自主的に身边を美化しようとする態度を育成している。	3.3	3.1		
		46 総合的な学習の時間では、課題探求型の学習を展開し、主体的・協働的に取り組むとともに、積極的に社会に参画しようとする態度を育成している。	3.0	3.3		
主な行事	1学期	47 儀式的行事は、適切に行われた。（離着任式、始業式、入学式、終業式）	3.6	3.4		
		48 文化的行事は、適切に行われた。	—	3.3		・今年度、課題について協議した内容を次年度へ引継ぐとともに、地域住民の参加に向けた改善案を模索しておく。（担当・学校改革推進委員会）
		49 健康安全的行事は、適切に行われた。（健康診断関係、交通安全教室等）	3.6	3.4		
		50 体育的行事は、適切に行われた。（体力テスト、プール水泳等）	3.5	3.5		
		51 集団宿泊・遠足的行事は、適切に行われた。（修学旅行、自然学校等）	3.6	3.6		
		52 勤労生産・奉仕的行事は、適切に行われた。（学校園、大掃除等）	<u>2.9</u>	3.4		
家庭・地域	家庭・地域との連携	53 登下校	3.1	<u>2.9</u>		・地域ボランティアを募集する。【教頭】 ・学校運営協議会に上程する。【教頭】 ・課題のある登校班について事前指導、定期的な声掛けを行っていく。（登校班日誌活用）【地区担当・担任】
		54 家庭訪問	3.4	3.4		
		55 参観日	3.5	3.3		
		56 懇談会	3.6	3.4		
		57 人材活用	3.1	3.2		
		58 コミュニティ・スクール（学校運営協議会を含む）	3.1	3.1		
		59 外部評価	—	3.2		
		60 学校便り・HP	3.3	3.2		